

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 大牟田市立高取小学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例：小中高一貫 )  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒837-0924  
福岡県大牟田市大字歴木1807番地58

E-mail takatori-es@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website http://www.e-net21.city.omuta.fukuoka.jp/takatori-es

幼児児童生徒数 男子 108名 女子 104名 合計 212名  
幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「地域とともに伸びる学校」をテーマとして、ESDを他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識する教育と捉え、ESDの実践を通して「かかわり」、「つながり」を尊重できる児童の育成を目標とした。

具体的には、総合的な学習の時間や生活科を柱に①地域の人に係わる学習②福祉に係わる学習③世界文化遺産に係わる学習、④自然環境に係わる学習を行った。

### ①地域の人に係わる学習

第1学年「たのしもう秋」では、地域の幼稚園や保育園の園児を招待し「たかとり秋フェスタ」で、自分たちで見つけた秋の楽しさを伝えることができた。(SDGs目標16平和と公正をすべての人に)

第2学年「レッツゴー町たんけん」では、地域にある店や施設を調べることを通して、よりよい町にしていくために、いろいろな人がいることを知り、自分たちのまちのよさを発見することができた。(SDGs目標11住み続けられるまちづくりを)

第3学年「わくわくドキドキお話たんてい団」では、読書ボランティアの方に読み聞かせのコツを生かし、地域の幼稚園の園児が喜ぶようなお話会を工夫することができた。(SDGs目標16平和と公正をすべての人に)

## ②福祉に係わる学習

第4学年「心のキャッチボール」では、大牟田市長寿社会推進課の方による「認知症理解のための絵本教室」をもとに、認知症について調べるとともに、地域の高齢者福祉施設を訪問し、お年寄りとの関わりを通して、共に生きる社会をつくっていくために自分たちにできることを考えた。(SDGs目標3すべての人に健康と福祉を)

## ③自然環境に係わる学習

第5学年「高取クリーンタウンチャレンジ」では、高取校区をゴミのない美しいまちにすることを通して、高取校区の豊かな自然を長く保っていくとともに、地域の人々がつながり合い協力し合う町づくりをめざして、自分たちにできることを考え、行動することができた。(SDGs目標7エネルギーをみんなにそしてクリーンに、目標15陸の豊かさを守ろう)

## ④世界文化遺産に係わる学習

第6学年「未来の大牟田を考えよう」では、三池炭鉱とその発展を支えた先人の功績を調べることを通して、自分たちが描く未来の大牟田のためにできることを考えるとともに、大牟田に対する誇りを持つことができた。(SDGs目標11住み続けられるまちづくりを)



①たかとり秋フェスタ



②心のキャッチボール



③高取クリーンタウンチャレンジ



④未来の大牟田を考えよう

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

書籍 ・副読本「わたしたちの大牟田」 ・絵本「くしゃくしゃ笑顔とや・さ・し顔」 ・大牟田検定ガイドブック ウェブサイト ・大牟田近代化産業文化遺産 HP
---

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校のESDの目標を「人格の発達や自律心、判断力、責任感などの人間性を育むとともに、他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、『かかわり』『つながり』を尊重できる児童を育成する。」と設定している。

また、「ESDで身に付けさせたい力」「学び方・考え方」を明記し、授業実践の中で、具体的なめざす子どもの姿を明確にしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ESDの全体計画の指導計画の中に各学年ごとに「ESDストーリーマップ」「ESDカレンダー」を作成し、生活科・総合的な学習の時間だけでなく、学校教育活動全体でESDを推進できるようにしている。

また、ESD掲示板を常設し、前学年の取組や他学年の取組がいつでも分かる環境づくりを行っている。1月にはユネスコスクール集会を開催し、学校全体でESDの学びの共有をしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

常設の掲示板やユネスコスクール集会でESDの学びを保護者や地域の方に公開している。地域の人々の理解・協力は年々増加し、地域の中にESDの取組は広がりつつある。学校関係評価委員会でも評価項目の中に位置づけをし、評価をしてもらっている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校便り、学年便り、市立学校メッセージボード等で活動をしたことを保護者、地域の方に発信している。また、1月には学校の教育活動に協力していただいた方々や保護者を招いて、ユネスコスクール集会を開催し、3年生から6年生までの活動報告と地域の方への感謝の気持ちを表す会を行っている。保護者や地域の方からは「子どもたちも頑張っているから、もっと地域でも声をかける」等の声もあり、子どもたちの活動意欲の向上につながっている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

校区の見守り隊の方には、5年生の「高取クリーンタウンチャレンジ」で、長溝川の清掃、ホテルの話、地域の掲示板へのポスター掲示等で協力をしていただいている。読書ボランティア「やすらぎの森」の方には、月1回の読み聞かせ、子ども読書の日や高取フェスタでのお話会をしていただいている。また、3年生の「わくわくドキドキお話たんてい団」では、子どもたちに読み聞かせの仕方を具体的に指導していただいている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

大牟田市のユネスコスクール担当者会において、他校との情報交換を行っている。また、HPや市立学校メッセージボード、実践交流会等を通して、実践の情報共有をしている。しかし、次年度以降、子どもたちの活動の意欲の向上や活動内容の質の向上のために、協力校との交流を積極的に進めていく方向で方針を定めている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

5年生の「高取クリーンタウンチャレンジ」では、全校児童に呼びかけて活動を行っているため、登校時に通学路のゴミを捨ってくる児童も多く、自分たちの地域を大切にしていこうとする思いが高まっている。また、地域や保護者の方も協力的であり、子どもたちの活動が高まるように、学校と地域の連携が強まっている。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

活動計画

- ・ 1年生（生活科） 「みんななかよし」  
○自分たちで見つけた秋を地域にある幼稚園・保育園の園児に伝える。
- ・ 2年生（生活科） 「レッツゴー町たんけん」  
○高取校区にある商店や病院などを訪ね、インタビューを通して人とふれあい、どのようなよさがあるかを調べ、まとめたことを発信する。
- ・ 3年生（総合） 「わくわくドキドキお話たんてい団」  
○読書の楽しさを伝えることに興味を持ち、1年生や幼稚園児に読み聞かせをする。
- ・ 4年生（総合） 「心のキャッチボール」  
○高齢者福祉施設を訪問し、お年寄りとの関わり方を通して、共に生きる社会をつくっていこうとする気持ちを持つ。
- ・ 5年生（総合） 「高取クリーンタウンチャレンジ」  
○高取校区をゴミのない美しい町にすることを通して、高取校区の豊かな自然を長く保っていくとともに、人々がつながり合い協力し合う町づくりをめざして活動する。
- ・ 6年生（総合） 「未来の大牟田を考えよう」  
○三池炭鉱に関わる人々について調べ、未来の大牟田について、自分たちにできることを考え行動する。